

福岡市山岳協会

【設立年月日】

1991（平3）年5月

【加盟年月日】

1962（昭37）年（福岡県山岳連盟として加盟）

【歴代会長】

・福岡市山岳協会設立後

1991（平3）年 池 邊 勝 利

1999（平11）年 齊 田 貴 典

2003（平15）年 浦 一 美

【沿革】

1991（平3）年5月、福岡県山岳連盟福岡支部を改め、福岡市山岳協会を設立しました。これは過去の古い体質を改め若い会員たちの夢と希望をかなえさせたいという思いからでした。特に福岡という地は日本の中でも山岳県としてよく知られ、昭和初期からその活躍ぶりは世に知られている所です。そういう先輩方の流れを受け若い会員たちも育ってきましたが、単一の山岳会では大きな海外遠征登山は難しいことでした。その流れを作り出そうとしたのが福岡市山岳協会の始まりです。当時は23団体、1200名という組織でした。各山岳会の若くて力があるメンバーを募り、世界最高峰を目指すことになりました。3年間の準備を終え1996（平8）年、福岡市山岳協会・チョモランマ峰登山隊が発会し、池邊勝利隊長以下15名の隊員で見事に登頂に成功しました。



その後も加盟団体は積極的に活動し、特に福岡大学山岳会のギャチュンカン（7922m）峰の登頂は世界的にもレベルの高い登山でした。又、国民体育大会の山岳部門では、1990（平2）年の「とびうめ国体」で青年男女とも加盟団体の会員が総合2位を勝ち取り、全国にアピールできました。この大会よりクライミング競技が自然壁から人工壁に変わった第一回目の記念すべき大会でした。

しかし、バブル崩壊後から社会人山岳団体会員の減少が始まり、又、若者が登山を敬遠し始め低迷期へと向かうようになります。山の中が静かになった頃、1995（平7）年、NHKが「中高年の登山学」を開始しました。定年退職者と子育てが終わった主婦層がこれによって動き始めました。2000（平12）年にはピークを迎え、レジャー白書の統計では「登山者は全国で2000万人」と言われました。この頃より登山事故が急増し、その対応にあらゆる組織、団体が動き始めますが衰退した山岳団体では難しいことです。登山の楽しさを知った中高年者は「九州百名山」や「日本百名山」を目指します。ここにガイド業が必要となり、2003（平15）年日本山岳ガイド協会が設立され国際ガイド連盟に加盟します。彼らと各ツアー会社が日本全国さらに海外の山まで案内するようになってきました。

【現在の活動】

しかし、登山事故は増える一方です。この事故を少しでも無くしたい、市民の健康活動に関与したいという思いで1998（平10）年、福岡市山岳協会も「初心者登山教室」を開始しました。



何も運動をしたことがない方々も含めて基本的なことから始め、自立した登山者の育成を目指します。現在も活動し卒業生は400名余になりました。並行して登山者の救助技術講習会を年に一度行っています。都市型の災害救助のために消防の方々も一時は参加されました。



山々は若者が去って寂しくなりましたが、国体での「スポーツクライミング」が一般的に盛んになってきました。この競技は「ワールドCUP」が行われており、海外では沢山の競技人口がいます。日本でも国体での優勝者がこれに参加できるようになりました。「攀じ登る」という本能を競技とするスポーツですが若者を奮い立たせました。日本全国でも人工壁が沢山できています。3～4mの高さを登る「ボルダーリング」とロープを付けて高い壁を登る「リードクライミング」ですがどちらも自分の限界へ挑む競技です。福岡市山岳協会も設立当初から普及活動として「初心者クライミング教室」に取り組んでいます。現在は若い女性たちも増え、子供たちやファミリー層も増えてきました。

又、最近自然界のパワースポット等が見出され、屋久島や富士山に若者があふれ始めました。今後の動向を注目しています。

■福岡市山岳協会の活動

- ・「初心者登山教室」
- ・「初心者クライミング教室」
- ・「救助技術講習会」